

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	畿央大学
設置者名	学校法人冬木学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
健康科学部	理学療法学科		22	12	84	118	13	
	看護医療学科		21	10	112	143	13	
	健康栄養学科		25	10	84	119	13	
	人間環境デザイン学科		19	10	96	125	13	
教育学部	現代教育学科		19	-	220	239	13	
(備考) 「全学共通科目」は学科によって担当教員が異なる場合があるため、各学科の該当クラスによつて算出している。								
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/wpmlmain/wp-content/uploads/2022/06/jitsumu2022.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	畿央大学
設置者名	学校法人冬木学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページに掲載。
<https://www.kio.ac.jp/fuyuki/reiki.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	公益財団法人顧問	2020.9.1- 2024.8.31	学校法人の経営力・ マネジメントの強化
非常勤	株式会社常務取締役	2020.9.1- 2024.8.31	学校法人の経営力・ マネジメントの強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	畿央大学
設置者名	学校法人冬木学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目については、以下の項目を明記したシラバスを、毎年度の履修登録開始時よりWeb上にて公表している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の到達目標 ・授業科目内容の概要 ・授業計画 ・授業外学修の指示 ・使用教材 ・参考図書 ・成績評価の方法・基準 ・学生へのメッセージ ・教員の実務経験 ・科目分類番号(ナンバリング) ・関連するディプロマ・ポリシー(学位授与の方針) <p>なお、シラバスは授業担当教員が執筆した後、各学科長及び事務局にて記載内容や表記等のチェックを行い、その結果を授業担当教員に戻し適宜修正等を加えた上で公表を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページに掲載(学生に対してはWebポータルシステムに掲載)。</p> <p>https://www.kio.ac.jp/kio-syllabus/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学では「履修に関する規則」「授業に関する規則」「試験に関する規則」を個別に定め、適切な成績評価の実施に努めている。</p> <p>このうち「履修に関する規則」においては「出席時数が授業時間数の 3 分の 2 に満たない者は、原則としてその授業科目の単位は認定されない」と明記し、一定の学修意欲を有する者のみが単位認定の対象となることを示している。</p> <p>出席時数に対する考え方（遅刻や早退、公欠等の取扱い）は「授業に関する規則」に明示し、学生が制度を理解しやすいよう考慮している。</p> <p>こうして一定の条件を満たした学生は、「試験に関する規則」に「本学の試験の方法は、筆記試験、レポート試験または実技試験によるものとする」と定められた試験による成績評価を受け、単位を認定されることとなる。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学では以下の基準によって GPA を算出している。</p> <p>評価「秀」(100～90点) GP4 (基準を大きく上回っている)</p> <p>評価「優」(89～80点) GP3 (基準を上回っている)</p> <p>評価「良」(79～70点) GP2 (基準に達している)</p> <p>評価「可」(69～60点) GP1 (単位認定の最低限には達している)</p> <p>評価「不可」(59点以下) GP0 (基準を下回っている)</p> <p>その他、合否のみによる成績評価を行う科目は対象外</p> <p>なお、GPA の算出式は以下のとおりである。</p> <p>(「秀」の単位数×4+「優」の単位数×3+「良」の単位数×2+「可」の単位数×1+「不可」の単位数×0) ÷ (「秀」～「不可」の単位数の合計)</p> <p>学期ごとに算出される GPA (学期単独及び累計) は Web ポータルシステムにおいて各学生に開示される。</p> <p>また、学科・年次ごとの平均値と分布についても算出を行い、一定期間 Web ポータルシステムでの閲覧を可能としている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>『学生ハンドブック』(毎年度当初のオリエンテーション時に配付)に掲載。なお、『学生ハンドブック』はホームページ上でも公開している(GPAに関する記載は P.72～73)。</p> <p>https://www.kio.ac.jp/wpmain/wp-content/uploads/2022/04/%E5%AD%A6%E7%94%9F%E3%83%8F%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%96%E3%83%83%E3%82%AF2022HP%E7%94%A8.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学では全学・学部・学科それぞれの単位で学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、ホームページ及び『学生ハンドブック』において公表している。

さらに各授業科目のシラバスには、当該科目が各学部・学科のディプロマ・ポリシーのどの項目に関連するものであるかを明記し、確実なポリシーの達成が図れるよう考慮している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページに掲載。

<https://www.kio.ac.jp/wp-content/uploads/2013/03/f53481860fed97a29bd80253678fc6ae.pdf>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	畿央大学
設置者名	学校法人冬木学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kio.ac.jp/fuyuki/jigyo.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.kio.ac.jp/fuyuki/jigyo.html
財産目録	https://www.kio.ac.jp/fuyuki/jigyo.html
事業報告書	https://www.kio.ac.jp/fuyuki/jigyo.html
監事による監査報告(書)	https://www.kio.ac.jp/fuyuki/jigyo.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 全学共通
教育研究上の目的（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/outline/goal/
（概要） 畿央大学では、「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」を教育の基本理念に置き、高潔な人格と幅広く高度な学識・技術を身につけ、地域社会および国際社会の発展に創造的に貢献できる有為な人材を育成することを目的としています。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/
（概要） 畿央大学は生命の尊厳を基盤に、豊かな人間性と徳性を培い、専門的知識と的確な技術をもって地域社会および国際社会に貢献する人材を養成することを目標とする。そこで、畿央大学での学びで以下のような能力（「生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち、幅広く豊かな教養を備え、社会で活動できる」「人間を総合的に理解し、修得した専門的知識と技術をもって健康と教育に関する諸課題に適切に対応できる」など 5 項を掲げる）を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/
（概要） 畿央大学では、建学の精神である「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」を教育の基本理念に置き、高潔な人格と幅広く高度な専門的知識・技術を身につけ、以て地域社会および国際社会に貢献できる有為な人材を育成するために必要な授業科目を精選し、体系的に学修できるように編成している。教育課程編成・実施の方針は以下のとおりである（「教養教育において生命の尊さやそのあり方について基本的な認識と価値意識を培うため、「生命倫理」を全学必修科目とする」「専門科目群は「専門基礎科目」「専門科目」からなり、それぞれの学科の人材養成の目的を達成できるよう体系的に科目を配置する」など 7 項を掲げる）。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/admission/info/policy/admission-policy/
（概要） ・本学の各学科で学ぶのにふさわしい基礎的な知識や学ぶための技能を身につけた者 ・高校までの学習を通して思考力や表現力などの能力を身につけた者 ・自ら主体性を持って学ぶ態度、知的探求心を身につけた者
学部等名 健康科学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/outline/goal/

<p>(概要)</p> <p>健康科学部では人間の身体と健康についての科学的視点や高い専門的技術を養うことと合わせて、建学の精神に則り、豊かな人間性を持ち、人の心の痛みに共感することができる人材を育みます。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/）</p>
<p>(概要)</p> <p>畿央大学健康科学部では、建学の精神（「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」）に則り、人間の身体と健康についての科学的視点や専門的知識・技術を養うことと合わせて、豊かな人間性を持ち、人の心の痛みに共感することができるような人材を育むことを目標とする。そこで、本学部における学びで以下のような能力（「生命の尊厳を基盤に豊かな人間性と確かな倫理観を持ち、人の心の痛みに共感することができる」「修得した専門的知識と的確な技術をもって、人間の身体と健康に関する今日的課題を解決し、自らの価値観のもとに創意工夫をこらすことで、地域社会および国際社会に貢献することができる」など 8 項を掲げる）を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/）</p>
<p>(概要)</p> <p>畿央大学健康科学部では、学位授与の方針に基づく教育上の目的を達成するために、必要な授業科目を精選し、体系的に学修できるように編成している。教育課程編成・実施の方針は以下のとおりである（「生命の尊厳について学び、豊かな人間性と確かな倫理観を養うために、「生命倫理」を必修科目とする」「協調性やコミュニケーション力、リーダーシップを育むために、「ベーシックセミナー」やチーム医療に関する科目を設置する」など 8 項を掲げる）。</p>
<p>学部等名 健康科学部理学療法学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/outline/goal/）</p>
<p>(概要)</p> <p>理学療法学科では、深い専門的知識と高い技術を修得すると同時に、医療従事者として人間の尊厳、生命への畏敬を理解し、人間を総合的に支援できる幅広い教養と倫理観を持った理学療法士を養成します。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/）</p>
<p>(概要)</p> <p>畿央大学健康科学部理学療法学科では、理学療法士としての深い専門的知識と高い技術を修得すると同時に、医療従事者として人間の尊厳、生命への畏敬を理解し、幅広い教養と倫理観を持った徳性のある人材を養成することを目標としている。さらに、保健・医療・福祉の各分野の専門家と連携・協働し、役割分担をしてチーム医療に参画することのできる人材を養成する。そこで、健康科学部の学位授与の方針を基礎としつつ、本学科における学びで以下のような能力（「医療従事者としての倫理観を持ち、人間の尊厳や生命への畏敬を理解している」「理学療法</p>

<p>学に関する専門的知識と的確な技術をもって、人間の身体と健康に関する今日的課題を解決し、自らの価値観のもとに創意工夫をこらすことで、地域社会および国際社会に貢献することができる」など 8 項を掲げる) を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/)</p>
<p>(概要)</p> <p>畿央大学健康科学部理学療法学科では、学位授与の方針に基づく教育上の目的を達成するために、健康科学部の教育課程編成・実施の方針を基礎としつつ、必要な授業科目を精選し、体系的に学修できるように編成している。本学科の教育課程編成・実施の方針は以下のとおりである（「医療従事者としての倫理観を養い、人間の尊厳や生命への畏敬について学ぶために、「生命倫理」を必修科目とする」「協調性やコミュニケーション力、リーダーシップを育むために、「パーソナルセミナー」やチーム医療に関する科目を設置する」など 8 項を掲げる）。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/admission/info/policy/admission-policy/)</p>
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士の仕事について関心があり、基本的な内容を理解している者 ・理学療法の知識や技術を深め、さらに発展させようとする意欲や科学的探究心を有する者 ・高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、高い基礎学力を有している者

<p>学部等名 健康科学部看護医療学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/outline/goal/)</p>
<p>(概要)</p> <p>看護医療学科では人の痛みや健康への願いを汲み取り、「心」の声を聴くことのできる感性を磨き、高い専門性と実践力を持ち「全人的ケア」を行なう人間性豊かな看護師・保健師を養成します。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/)</p>
<p>(概要)</p> <p>畿央大学健康科学部看護医療学科では、高い専門性と臨地に役立つ実践力、およびチーム医療で活躍できる協調性を持ち、「全人的ケア」の行える人間性豊かな看護師・保健師を養成する。そこで、健康科学部の学位授与の方針を基礎としつつ、本学科における学びで以下のような能力（「医療従事者として、人間の尊厳や生命への畏敬について理解し、人の痛みや健康への願いを汲み取ることができる感性を持っている」「看護医療に携わる者として、あらゆる生活の場で生じる利用者のニーズを正しく理解し、責任を持って問題を解決していくことができる」など 8 項を掲げる）を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/)</p>

<p>(概要)</p> <p>畿央大学健康科学部看護医療学科では、学位授与の方針に基づく教育上の目的を達成するために、健康科学部の教育課程編成・実施の方針を基礎としつつ、必要な授業科目を精選し、体系的に学修できるように編成している。教育課程編成・実施の方針は以下のとおりである（「人間の尊厳や生命への畏敬について理解し、人の痛みや健康への願いを汲み取ることができる感性を養うために、「生命倫理」を必修科目とする」「チーム医療や高度医療、地域の訪問看護などの場面で求められる協調性やコミュニケーション力、リーダーシップを育むために、「ベーシックセミナー」や「チーム医療ふれあい実習」、「離島・へき地医療体験実習」等の必修科目を充実させる」など8項を掲げる）。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/admission/info/policy/admission-policy/）</p>
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間に対する深い愛情と洞察力を有し、職業人として医療に携わるのにふさわしい人格と豊かな人間性を備える者 ・チーム医療を担うための協調性と柔軟性を有する者で、チームの中核となり社会に貢献することをめざす者 ・高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、高い基礎学力を有している者
<p>学部等名 健康科学部健康栄養学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/outline/goal/）</p>
<p>(概要)</p> <p>健康栄養学科では食品・栄養・保健・医療分野にわたる教育研究を通して、健康のために望ましい食生活とライフスタイルのあり方を解明し、それを実践・普及することのできる総合的な問題解決能力を持った管理栄養士を養成します。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/）</p>
<p>(概要)</p> <p>畿央大学健康科学部健康栄養学科では、食品・栄養・保健・医療分野にわたる教育研究を通して、健康づくりのための望ましい食生活とライフスタイルのあり方を解明し、それを実践・普及することのできる総合的な問題解決型人材を養成する。そこで、健康科学部の学位授与の方針を基礎としつつ、本学科における学びで以下のような能力（「生命に対する深い畏敬の念と豊かな人間性を持っている」「食品・栄養・保健・医療分野の専門家と連携・協働するために必要な協調性とリーダーシップを身につけている」など7項を掲げる）を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/）</p>

<p>(概要)</p> <p>畿央大学健康科学部健康栄養学科では、学位授与の方針に基づく教育上の目的を達成するために、健康科学部の教育課程編成・実施の方針を基礎としつつ、必要な授業科目を精選し、体系的に学修できるように編成している。教育課程編成・実施の方針は以下のとおりである（「生命に対する深い畏敬の念と豊かな人間性を育むために、「生命倫理」を必修科目とする」「管理栄養士など、食や栄養に関する分野の高度専門職業人に要求される深い専門的知識と高い技術を修得できるよう、食品科学と栄養学に関する必修科目・選択科目を充実させ、それらを領域別に、基礎から応用へと体系的に編成する」など9項を掲げる）。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/admission/info/policy/admission-policy/）</p>
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康と食、栄養の関わりについて深い関心を有する者 ・将来管理栄養士として栄養管理や栄養指導を行うことのできる情報収集、分析、伝達能力の資質を有する者 ・高等学校における教科・科目の中でも特に化学について基礎学力を有している者
<p>学部等名 健康科学部人間環境デザイン学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/outline/goal/）</p>
<p>(概要)</p> <p>人間環境デザイン学科においては、高度な専門知識と技能を備えた建築士や、インテリアやプロダクト、ファッションなど様々な専門分野で、健康で快適な環境をデザインできる実践的な問題解決型の人材を養成します。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/）</p>
<p>(概要)</p> <p>畿央大学健康科学部人間環境デザイン学科では、「すべての人が健康で豊かに生活できる環境をいかに創造するか」という問題意識を持って環境（衣・住）に関わるデザインができる人材を養成する。そこで、健康科学部の学位授与の方針を基礎としつつ、本学科における学びで以下のような能力（「幼児から高齢者、障がい者をはじめ、すべての人間に対する深い畏敬の念を持ち、デザインに携わる者としての倫理観を有している」「修得した専門的知識と技術を土台として、これからの時代に必要とされる環境を適切に分析し、自ら創造していくことができる」など7項を掲げる）を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/）</p>
<p>(概要)</p> <p>畿央大学健康科学部人間環境デザイン学科では、学位授与の方針に基づく教育上の目的を達成するために、健康科学部の教育課程編成・実施の方針を基礎としつつ、必要な授業科目を精選し、体系的に学修できるように編成している。教育課程編成・実施の方針は以下のとおりである（「すべての人間に対する深い畏敬の念を持ち、デザインに携わる者としての倫理観を身につける</p>

ことができるよう、「生命倫理」および「ユニバーサルデザイン」を必修科目とする「協調性やコミュニケーション力、リーダーシップを育むために、「ベーシックセミナー」や「プロジェクトゼミ」を設置する」など 7 項を掲げる）。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページに掲載。

<https://www.kio.ac.jp/admission/info/policy/admission-policy/>)

（概要）

- ・快適な住まいづくりやまち(地域)づくり、身のまわりのデザインに興味を有する者
- ・住む人、使う人の立場で居住環境と健康の関わりについて深い関心を有する者
- ・高等学校で履修する教科・科目全般にわたる基礎学力を十分に身につけた者

学部等名 教育学部現代教育学科

教育研究上の目的（公表方法：ホームページに掲載。

<https://www.kio.ac.jp/guide/outline/goal/>)

（概要）

教育学部現代教育学科は、建学の精神を教育の基本とし、現代の教育課題に真摯に取り組み、それらを協働して解決していくための「信念」「知識」「実践力」を兼ね備え、教育に関する幅広く高度な専門的知識、実践的な課題解決能力、そして健全な心身と豊かな人間性を持った教育専門家を育成します。

卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページに掲載。

<https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/>)

（概要）

畿央大学教育学部および同学部現代教育学科では、現代的教育課題への対応を背景として、個人、家庭、学校および職域を含む地域社会全体の教育力の向上発展に寄与できる人材を育成することをめざす。そこで、本学部・学科における学びで以下のような能力（「生命への畏敬の念を持ち、教育に携わる者としての倫理観や子どもに対する深い理解と愛情を持っている」「学校教育、幼児教育、保健教育に関わる分野の高度専門職業人として必要な教育学の諸理論、子どもの発達、各教科・領域の内容や指導法、学校保健等についての専門的知識を有している」など 9 項を掲げる）を身につけ、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページに掲載。

<https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/>)

（概要）

畿央大学教育学部および同学部現代教育学科では、学位授与の方針に基づく教育上の目的を達成するために、必要な授業科目を精選し、体系的に学修できるように編成している。教育課程編成・実施の方針は以下のとおりである（「生命への畏敬の念や教育に携わる者としての倫理観、子どもに対する理解・愛情を育むために、「生命倫理」や「教育原理」を必修科目とし、見学実習に関する科目を設置する」「グローバル化時代への対応や特別な支援を必要とする子どもへの対応といった新たな教育課題を理解し、それらに適切に対処する力を身につけることができるよう、外国語（英語）科目の体系的な配置、日本社会および国際社会に関する基礎知識や異文化コミュニケーションについて学ぶための科目の設置、海外研修の機会の提供を図るとともに、「特別

支援教育入門」を必修科目とするなど特別支援教育に関する科目を充実させる」など 9 項を掲げる)。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページに掲載。

<https://www.kio.ac.jp/admission/info/policy/admission-policy/>)

（概要）

- ・学校生活の経験をとおり、学校や教育への親しみや関心を抱いている者
- ・子どもに対して深い愛情と思いやりの心を持ち、将来教育、保育の現場に従事することの重大性を認識している者
- ・高等学校で履修する教科・科目全般にわたる基礎学力を十分に身につけた者

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページに掲載。

<https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
健康科学部	—	30人	30人	9人	12人	10人	91人
教育学部	—	15人	11人	7人	0人	0人	33人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			人				人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.kio.ac.jp/faculty/health/p/teacher/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
健康科学部	320人	346人	108.1%	1280人	1368人	106.9%	0人	0人
教育学部	195人	194人	99.5%	780人	788人	101.0%	0人	0人
合計	515人	540人	104.9%	2060人	2156人	104.7%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
健康科学部	320人 (100%)	9人 (2.8%)	302人 (94.4%)	9人 (2.8%)
教育学部	220人 (100%)	2人 (1.0%)	214人 (97.2%)	4人 (1.8%)
合計	540人 (100%)	11人 (2.0%)	516人 (95.6%)	13人 (2.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>各授業科目については、以下の項目を明記したシラバスを Web 上にて公表している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の到達目標 ・授業科目内容の概要 ・授業計画 ・授業外学修の指示 ・使用教材 ・参考図書 ・成績評価の方法・基準 ・学生へのメッセージ ・教員の実務経験 ・関連するディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>[学修の成果に係る評価]</p> <p>本学では「履修に関する規則」「授業に関する規則」「試験に関する規則」を個別に定め、適切な成績評価の実施に努めている。</p> <p>このうち「履修に関する規則」においては「出席時数が授業時間数の 3 分の 2 に満たない者は、原則としてその授業科目の単位は認定されない」と明記し、一定の学修意欲を有する者のみが単位認定の対象となることを示している。</p> <p>出席時数に対する考え方（遅刻や早退、公欠等の取扱い）は「授業に関する規則」に明示し、学生が制度を理解しやすいよう考慮している。</p> <p>こうして一定の条件を満たした学生は、「試験に関する規則」に「本学の試験の方法は、筆記試験、レポート試験または実技試験によるものとする」と定められた試験による成績評価を受け、単位を認定されることとなる。</p>
--

[卒業又は修了の認定に当たっての基準]				
本学では全学・学部・学科それぞれの単位で学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、ホームページ及び『学生ハンドブック』において公表している。				
さらに各授業科目のシラバスには、当該科目が各学部・学科のディプロマ・ポリシーのどの項目に関連するものであるかを明記し、確実なポリシーの達成が図れるよう考慮している。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
健康科学部	理学療法学科	126 単位	有・無	単位
	看護医療学科	132 単位	有・無	単位
	健康栄養学科	124 単位	有・無	単位
	人間環境デザイン学 科	124 単位	有・無	単位
教育学部	現代教育学科	124 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページに掲載。

<https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意 記載事項)
健康科学 部	理学療法 学科	860,000 円	260,000 円	初年度 700,000 円 2 年目以降 830,000 円	
	看護医療 学科	860,000 円	260,000 円	初年度 700,000 円 2 年目以降 830,000 円	
	健康栄養 学科	860,000 円	260,000 円	初年度 370,000 円 2 年目以降 500,000 円	
	人間環境デ ザイン学科	860,000 円	260,000 円	初年度 270,000 円 2 年目以降 400,000 円	
教育学部	現代教育 学科	860,000 円	260,000 円	初年度 270,000 円 2 年目以降 400,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 本学では担任制を敷いており、全担当学生を対象に年 2 回の担任面談を実施している。この面談において担任教員は各学生の修学に係る現状把握に努める。また、各学生は担任教員に対して、いつでも修学に係る悩み事等の相談をすることができる。 事務局には「学生支援センター」を置き、教務系の担当職員が履修登録・成績評価等を含めた修学の相談を受けることとしている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 同じく担任教員は各学生の進路選択に係る現状把握に努め、学生からの相談にも対応する。 事務局には「キャリアセンター」を置いて就職活動等の進路支援を行うとともに、「教採・公務員対策室」を別置き、特に教員採用試験や公務員試験を受験しようとする学生に対するきめ細かなサポートを実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 同じく担任教員は各学生の心身の健康等に係る現状把握に努め、学生からの相談にも対応する。 事務局には「健康支援センター」を置いて学生の身体面の不調等に対応するとともに、「キャンパスコラボレーションセンター」(通称「こころぼ」)を別置き、臨床心理士を配して学生の精神面の不調や悩み事等の相談をすることができる。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページに掲載。 https://www.kio.ac.jp/guide/disclosure/list/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	畿央大学
設置者名	学校法人 冬木学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		251人	244人	267人
内 訳	第Ⅰ区分	140人	148人	
	第Ⅱ区分	73人	66人	
	第Ⅲ区分	38人	30人	
家計急変による支援対象者（年間）				－人
合計（年間）				267人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	33人	人	人
計	33人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	45人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	45人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。